「裾野市産業基本計画案」 パブリックコメント制度の実施結果について

平 成 2 9 年 3 月 裾野市産業部商工観光課 電話:055-995-1857

「産業基本計画案」について、パブリックコメント制度によりご意見を募集したところ、次のとおりご意見をお寄せいただきました。貴重なご意見をありがとうございました。

ご意見の概要とそれに対する市の考え方を公表いたします。ご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約いたしました。

1 募集期間

平成29年3月8日(水)~平成29年3月21日(火)

2 意見の提出方法と件数

提出方法	人数(人)	件数(件)
窓口持参	0	0
郵送	0	0
電子メール	4	61
ウェブサイト	0	0
計	4	61

3 意見の概要と市の考え方

旧	,,,,,,	<u>E 11004777</u>		内容	新	
頁	章	大項目	小項目	※明らかに誤記と認められるものは訂正しています。	頁	対応
全	,	7 7 7 7 7 7		意見) ①「東京から 100Km 圏内」「東京 100Km 圏」「首都圏から 100km 圏内」などの表現		①東京から 100 km圏内 と統一します。
体				の振れがある、②半角カタカナは読みづらい。③計画策定では、RESAS などの地方創生関	体	②半角カタカナは、全角カタカナに修正します。
				連ツールが積極的に活用されたとは見受けられる状況ではない		③RESAS は積極的に活用しておりますが、元データを
						積極的に採用しておりますので、表現が異なることも
						ございます。
				基本計画が多くでき過ぎ、表現は違うがダブっている内容も多い。木が森までになって		今回の計画は、総合計画、まちひとしごと創生総合戦
				しまっている。計画(P)ができたら、実施(D)、成果評価(S)、フィードバック		略を上位計画とし、商業、工業、農業、観光業のみを
				(A) をすべきなのに、森の中の道のように入りくんでいては、つじつま合わせだけで		切り取り、産業全体の計画にさせていただいておりま
				も大変になる。数本の木にまとめ、大切に育てるべき。		す。
				西暦での記載と年号での記載が混在しており、時間的な流れの把握が読み取りにくい。		各種の統計から把握をしておりますので、文章とグラ
				「年号のみ」もしくは「年号(西暦)」とする記載に統一したほうが良い		フの年号を統一するように整理します。
				「本市」や「当市」が多くあるため、統一したほうがよい。		「当市」で統一します。
4	第2章	(2)裾野市の現状 整理	①人口の動態	村の合併の年代が違うのではないか。	4	年代をあわせます。
8	第2章	(3)裾野市各産業	①産業基盤の現	原文)企業の立地と共に地域経済の拡大、人口増加が進み、立地企業は地域貢献に積極	8	「企業の立地と共に地域経済の拡大、人口増加が進み、
		分野の現状と課題	状と課題	的で、様々な分野でまちづくりに参画している。		企業は積極的な地域貢献活動を通し、様々な分野でまた。
				 意見) 企業の立地と共に地域経済の拡大、人口増加が進み、また企業は積極的な地域貢		ちづくりにも参画している。」と修正します。
				献活動を通し、様々な分野でまちづくりにも参画している。」		
				※地域貢献=「まちづくりへの参画」という意識の確認ができていないのではないか。		
				※地域負帐ー よりラくサージの画」とv・方息戦v/推応がせるとv・なv・v/とvs/sv・//*。		
9	第2章	(3)裾野市各産業	①産業基盤の現	原文)本市に立地する大企業と中小企業との事業関連性は低いという特徴がある。	9	本市の産業の特徴として記載しておりますので、今後
		分野の現状と課題	状と課題			企業間取引などを調査したいと考えております。
				意見) 地域内での企業連携に課題がある。		
				産業が全く違う事から、事業関連性がない事は当たり前。企業間取引情報などを分析し		
				た結果なのか?		
				2行目「生産額が大きく変動」 とあるが、「付加価値額」ではないか。	9	付加価値額に修正します。
				当市の総生産の推移 (グラフ)	9	グラフを細分化します。
				意見)その他サービス業で分類されている灰色のグラフを細分化すべき。		
				年度に関わらずある一定の値で推移している事から、裾野市を支える盤石な産業とも言		
				える。この中にも裾野市の強みとなる産業があるのではないか。		

旧				内容	新	
頁	章	大項目	小項目	※明らかに誤記と認められるものは訂正しています。	頁	対応
				原文)他の産業(卸売・小売業、その他のサービス業、建設業、農林水産業)は概ね横	9	①文章の後段部分を、「これは、本市の産業構造とし
				ばいとなっている。これは、大企業と市内中小企業との下請け構造になっていないため、		て、地域の多くの中小企業は市内の大手企業と直接的
				大企業と中小企業で強い連関が見られず、市内企業での連携が少ないことが伺われる。		な生産・取引関係が少ないからだと考えられる。」と
						修正します。
				意見)①他の産業が横ばいなのは、大企業と市内中小企業との下請け構造・市内企業の		②卸売・小売業の伸びについては、今後分析してきた
				連携が少ないからとは言えない。		いと考えております。
				製造業の様に、景気や為替の様な外的要因に大きな影響を受ける事がないからであって、		
				「強い関連が見られない」「連携が少ない」という考察を導きだす事には無理がある。		
				②一方で卸売・小売業(オレンジのグラフ)は平成23年以降伸びが見られる。		
				平成23年以降伸びが見られる産業の分析は?伸びの理由は?		
				グラフの吹き出し「リーマンショックにより製造業が大きく変動」とあるが、リーマン	9	「景気や為替の動向等により、製造業の付加価値額が
				ショックだけが要因ではない。		大きく変動」と修正します。
				原文)特定の分野を除き低迷しており、	9	「当市の労働生産性について、「製造業」「卸売業」
						「学術研究」「医療・福祉」の分野においては、近隣
				意見)①労働生産性のグラフからは、低迷していると言い切れない。		市町に比べ、髙い数値が見られるため、」と修正しま
				農林漁業、情報通信業はグラフからも近隣市町より低い事が読み取れるが、生活関連サ		す。
				ービス業・娯楽業はほぼ同等の様に見える。		
				原文)地域産業全体の稼ぐ力の構築が求められている。	9	「その他分野の底上げを図ることが求められている。」 と表現します。
				意見)①労働生産性だけの評価では、「稼ぐ力の構築が求められている」とは言えない。		
				稼ぐ力の言及をするのであれば、付加価値額、労働生産性、従業者数などと共に修正特		
				化係数を活用し評価するべきではないか。		
10	第2章	(3)裾野市各産業	①産業基盤の現	原文) したがって、当市の地域経済の全体像を見ると、地域経済循環率(生産(付加価値	11	①近隣市町の地域経済循環率を調査した結果、御殿場
		分野の現状と課題	状と課題	額)÷分配(所得)は93.0%となっており、市内に分配される所得の9割超が市内で生産さ		市 90.3、三島市 89.0、沼津市 103.9、長泉町 140.1、
				れている自立度の高い地域経済といえる。		清水町 102.6、小山町 111.8 であるため、自立度につ
						いては高くはないと検討しなおしました。
				意見)①自立度の高い地域経済とは言えない。		②「民間投資額の36%、その他支出の38%が地域外に流
				地域経済循環率が 100%未満 (生産<分配) である事から、投資が地域外に流出しており、		出している事から、地域内での企業連携(投資の支出
				所得の地域内循環構造に弱みがある。もしくは、流入所得が 9.2% (1 割弱) あり、地域		先) の可能性がある。」と修正します。
				外からの所得もある。		
				②民間投資額の36%、その他支出の38%が地域外に流出している事から、地域内での企業		
				連携(投資の支出先)に課題がある。という事は言える。		
11	第2章	(3)裾野市各産業	①産業基盤の現	意見) 労働生産性が低く、雇用者所得が低いのはなぜか?を解析していないのはなぜか?	12	現状を把握するためのデータであり、今後分析します。
		分野の現状と課題	状と課題	稼ぐ力に大きく影響するパラメータなので、「なぜ」を分析しないと、産業の強み・弱み		
				が明確にならない。		
	I	I	1			

旧				内容	新	
頁	章	大項目	小項目	※明らかに誤記と認められるものは訂正しています。	頁	対応
				「労働生産性が高いとはいえない状況」→「~低い状況」	12	比較して明確にわかる表現に修正します。
				※「比較すると」としているので明確に。		
				「~比較すると、雇用者に分配される所得は比較的少ないことが」	12	比較して明確にわかる表現に修正します。
				→ 言葉の重複 上段と表現を併せるため「比較的」を削除したほうがよいのでは。		
12	第2章	(3)裾野市各産業	①産業基盤の現	原文)文中「鉄道でのアクセスについては、東海道新幹線三島駅からの鉄道や路線バス	13	「鉄道でのアクセスについては、JR三島駅と当市を
		分野の現状と課題	状と課題	でのアクセスには課題が残る」(※言葉の重複)		つなぐ公共交通の利便性に課題がある。」に修正しま
						す。
				意見)「鉄道でのアクセスについては、JR三島駅と当市をつなぐ公共交通の利便性に課		
				題が残る」		
13	第2章	(3)裾野市各産業	①産業基盤の現	表題 外部環境の変化により当市の立地優位性に影響を与える の表現がどうか。	14	「外部環境の変化が当市の立地優位性に影響を与え
		分野の現状と課題	状と課題			る」 に修正します。
				原文)「北部地域に集中する企業への朝夕の通勤車両が生み出す市内全域の渋滞を減少さ	14	朝夕の交通事情を表現するものであり、北部地域に対
				せ、」		し課題を提起する文章ではありません。
				修正)「主要幹線道路を利用した市内外の企業への通勤により生じる市内全域の渋滞減少		
				のため、」		
				産業基本計画であるのに対し、北部地域の企業を課題視する文章に取れる。		
				意見) 市道 1-4 (神山深良線) の事業の言及はないのはなぜか?	14	神山深良線については、掲載します。
				裾野市の重要な社会資本整備の取り組みでは。		
14	第2章	(3)裾野市各産業	①産業基盤の現	原文)本市に立地する大企業と中小企業との事業関連性は低いという特徴がある。	15	本市の産業の特徴として記載しておりますので、今後
		分野の現状と課題	状と課題			企業間取引などを調査したいと考えております。
				意見)地域内での企業連携に課題がある。		
				産業が全く違う事から、事業関連性がない事は当たり前。企業間取引情報などを分析し		
				た結果なのか?		
				原文) 地域経済循環率 は 93.0%と自立度の高い地域経済	15	近隣市町の地域経済循環率を調査した結果、御殿場市
						90.3、三島市89.0、沼津市103.9、長泉町140.1、清
				意見) 所得の地域外流出は 44 億円 (2.1% 計算: 44÷ {1918+189}) で所得の外部依存が		水町 102.6、小山町 111.8 であるため、自立度につい
				低い。		ては高くはないと検討しなおしました
				地域経済循環率が100%を切る状態が、理論的に自立度が高い経済状態なのか?		

旧				内容	新	
頁	章	大項目	小項目	※明らかに誤記と認められるものは訂正しています。	頁	対応
				原文) 進んだ産業集積を維持・向上することで、将来的にも当地域の経済をけん引する ことが求められている。	15	「当地域の経済をけん引するため、進んだ産業集積の 維持・向上を推進することが求められている。」と修 正します。
				意見)述べている事は今まで市が経験や勘に基づき言ってきた事を述べているだけではないか。		,
				RESAS の産業構造マップ→稼ぐ力分析では、製造業の特化係数(付加価値額): 0.57、特化係数(従業者数企業単位): 0.81、など弱みが把握できる。一方で、卸売業、小売業の		
				特化係数(付加価値額): 2.84 で県内1位。データに基づいた弱み、強みの分析をもっと		
				強化すれば、違う分析結果(例えば裾野市を担う次の産業など)になるのではないか。 「投資を誘発」ではなく、「投資を誘導」ではないか。	15	投資を発生させることが課題であるという表現から、 「投資を生み出す」に修正します。
				原文)事業者・経済団体・市の役割分担の明確化による地域産業振興を図ることが必要である。	15	それぞれの役割分担を明確にし、産業、行政の連携の 強化を図りながら地域を盛り上げることが必要である と考えておりますので、このような表現とさせていた
				意見)事業者・経済団体が地域産業振興を図る事を押し付ける表現ではないか。 事業者は CSR の観点で持続的な活動をする事が前提であって、地域産業振興を図る事を		だいております。
				必要とする事は適切ではないのではないか。(事業者・経済団体が役割付与により取り組むものではない)		
				市が「地域産業振興の長期ビジョン」を明確に示し、産官連携の強化により長期ビジョンを達成する事が適切ではないか。		
15	第2章	(3)裾野市各産業 分野の現状と課題	②商工業の現状 と課題	「昼夜間人口が 107.5」 は、「昼夜間人口比率が 107.5」ではないか。	16	修正します。
16· 17· 18	第2章	(3)裾野市各産業 分野の現状と課題	②商工業の現状 と課題	データが平成 18 年と古くないか。	_	平成 18 年以降の調査をしていないため、新しいデータがない状態です。そのため、ページは外していく方針です。
19	第2章	(3)裾野市各産業 分野の現状と課題	②商工業の現状 と課題	原文)人口減少にともない、小売業の事業所数、販売額の減少や廃業率の上昇など、 商業活力は低下している。	17	「小売業の事業所数、販売額の減少や廃業率の上昇など、商業活力は低下している。」と表現を修正します。
				意見)年間商品販売額は2004年から減少しているから、人口減少に伴っているというのは間違いではないか。人口減少局面に入ったのは2015年6月時点(人口ビジョンより) RESASの「産業構造マップ→小売・卸売業(消費)→年間商品販売額」を見ると、裾野市の無理・17.7% (知味用書・11.1% 用来物、1.5%)		
				の年間商品販売額の増減率は-10.9%、長泉町:+17.7%、御殿場市:+11.1%、県平均:-1.5%、全国平均:-0.9%という状況。年間商品販売額減少の理由は人口減少に伴っていない→データから人口増加局面からすでに商業活力の低下が始まっていることが明らかになっている。		

旧				内容	新	
頁	章	大項目	小項目	※明らかに誤記と認められるものは訂正しています。	頁	対応
21	第2章	(3)裾野市各産業 分野の現状と課題	②商工業の現状 と課題	原文)東西に富士山・愛鷹山、箱根山を抱え谷間に市街地が形成される地形的な問題や、	20	本市の地勢について表現した部分であり、「地勢的な問題」と修正します。また、この基本計画では、土地利用については言及しておりませんので、その部分の
				意見)「地形的な問題」ではなく、国道 246 の交通量が多く、交流人口が望める状況でありながら、幹線道路沿いが超大型店舗が参入できる土地利用となっていないからではないか。		考察はしておりません。
22	第2章	(3)裾野市各産業 分野の現状と課題	②商工業の現状 と課題	原文)大企業をはじめ工業の立地は多いものの、出荷額、事業所数は減少傾向にある。	22	「大企業の立地は多いものの、」と修正します。
				意見)「工業の立地が多い」→①工業の立地という言葉ある?②「多い」→根拠が示されていない。(=経験と勘から発せられる言葉ではないか。)		
				原文)企業の集積に伴い、就業者数は平成 2 年に比べ、大きく増加した。	22	就業者数のグラフを 15 ページに移動した関係で、就業者数についての部分は削除させていただきます。
				意見) ①グラフでは、2005 年より事業所数が減少しているのに、なぜ「企業の集積に伴い」なのか?②就業者数推移が示されていない。③なぜ平成2年と比較したのか、理由		
				が示されていない (=グラフなどのデータがない)		
24	第2章	(3)裾野市各産業分野の現状と課題	と課題	意見)①文中では鉄道、バスの複数の公共交通について分析がされている。「鉄道利便性」でなく「公共交通の利便性」ではないか。②公共交通の利便性が高くないの根拠がない P25 の市民意識調査の結果を使う③バスの利用者の分析をしなくても良いのか)④徒歩圏内の居住者数における利用者数などを分析した上で、「利用率の高低」などで利便性を推察したらどうか。	24	①そのとおりですので「鉄道利便性」を「公共交通の利便性」に修正します。 ②市民意識調査の結果を使用します。 ③このページは駅周辺の賑わいについて考察しているため、バスの利用者の分析はしない予定です。 ④③と同一でありますので、利用者数等は分析しない予定です。
26	第2章	(3)裾野市各産業 分野の現状と課題	②商工業の現状 と課題	原文)人口減少にともない、小売業の事業所数、販売額の減少や廃業率の上昇など、 商業活力は低下している。	26	19 ページと同様、「小売業の事業所数、販売額の減少や廃業率の上昇など、商業活力は低下している。」と表現を修正します。
				意見) P19 で示した通り、小売業の事業所数、販売額の減少や廃業率の上昇は、人口減少 に伴っていないのではないか。(データに示されていないのではないか)		
				原文) 大企業をはじめ工業の立地は多いものの	26	22 ページと同様、「大企業の立地は多いものの、」と修正します。
				意見) P22 で示した通り、「工業の立地が多い」→①工業の立地という言葉ある?②「多		
				い」→根拠が示されていない。(=経験と勘から発せられる言葉ではないか。) 原文) 鉄道利便性は真くなく。 即国辺の商業の賑わいづくりに課題がある。	96	94 ペニン゙レ同様 「鉄満利便歴」 オ、「八世六泽の利便
				原文)鉄道利便性は高くなく、駅周辺の商業の賑わいづくりに課題がある。	26	24 ページと同様、「鉄道利便性」を「公共交通の利便性」に修正します。
				意見) P24 で示した通り、文中では鉄道、バスの複数の公共交通について分析がされ		
				ている。「鉄道利便性」でなく「公共交通の利便性」ではないか。		

旧				内容	新	
頁	章	大項目	小項目	※明らかに誤記と認められるものは訂正しています。	頁	対応
				原文)商工業の課題	26	現状と課題について、連携が図れていない文章もある ため、つながるような表現に修正します。
				意見)現状の課題で触れていない内容が列記されていて、唐突感がある。(現状把握が全 く活きていない)		
27	第2章	(3)裾野市各産業	③農林業の現状	意見)RESAS の「産業構造マップ」→「農業の構造」→「農業部門別 販売金額 (総額)」	27	RESAS はいくつかの作物がまとめられて出されていま
		分野の現状と課題	と課題	によれば、1位:その他の作物(9,630万円)、2位:花き・花木(9,425万円)、3位:施		すので、農林業センサスの作物の方が細かくなってい
				設野菜(7,000万円)と続き、稲作は5位:(4,160万円)。課題で触れていない内容が列		ると考えられます。
				記されていて、唐突感がある。(現状把握が全く活きていない)		
				「その他の野菜」は複数を含んでいるため、順位として文中に入れるのはどうでしょう	27	グラフにその他の野菜を入れても他の野菜と比較でき
				か?削除しても良いのではないか?		ないため、その他の野菜は外します。
29	第2章	(3) 裾野市各産業	③農林業の現状	意見)RESAS の「産業構造マップ」→「農地分析」→「耕作放棄地率」によれば、裾野市	29	耕作放棄地面積の推移は RESAS と農林業センサスも同
		分野の現状と課題	と課題	の耕作放棄地率は 2010 年: 28.18%で、2005 年: 24.64%より 3.54%悪化。県平均より 7.89%		一の事を表現していると考えられます。そのため、全
				悪い。御殿場市より 2010 年で 17.05%悪い。RESAS のデータと何が違う?		体の経営耕作地面積が減っているので、耕作放棄地面
						積が微増でも悪化していることがわかります。
				「土地持ち非農家の耕作面積は増加している。」という表現は正しいか。	29	「土地持ち非農家の耕作放棄地面積は増加傾向にあ
						る。」と修正します。
30	第2章		③農林業の現状	原文)中山間地で傾斜のある地形から、農地の集団化・大規模化が困難な地域が多い。	30	「中山間地で傾斜のある地形から、農地の大規模化が
		分野の現状と課題	と課題			困難であり、集団化を図りにくい状況にある。」に修
				意見)大規模化は地形に依存するが、農地の集団化は地形の問題ではない。		正します。
				①集団化に向けた誘導、②所有者等との話し合い機会の創出、③中間管理事業などへの		
				取り組み、が希薄な為農地の集団化が促進されていかないのでは無いか。		
32	第2章	(3) 裾野市各産業		原文)当市では「裾野市鳥獣被害防止計画」を策定し、国、県等と連携しながら、猟友	32	鳥獣被害対策実施対条例について、記載します。
		分野の現状と課題	と課題	会等の協力により対策を行っている。		
				意見)鳥獣被害対策実施隊を設置する条例を制定したのだから、記載しないのか。		
33	第2章	(3)裾野市各産業	③農林業の現状	原文)「裾野市公共建築物の木材利用の促進に関する方針」を策定し、地元 産材の利用	33	①裾野市公共建築物の木材利用の促進に関する方針は
		分野の現状と課題	と課題	を推進している。		策定しております。
						②木材利用について推進してはおりますが、担当課に
				意見)①「裾野市公共建築物の木材利用の促進に関する方針」が市公式ウェブサイトか		おいて利用状況等が把握できておりません。
				ら検索できない。②推進できている根拠(例:利用状況や利用量)が示されていない。		
				「そば」に注目し → 「そば」に着目し	33	「そばに着目し」に修正します。
34	第2章	(3)裾野市各産業	③農林業の現状	原文)中山間地で傾斜のある地形から、農地の集団化・大規模化が困難な地域が多い。	34	30 ページと同様、「中山間地で傾斜のある地形から、
		分野の現状と課題	と課題			農地の大規模化が困難であり、集団化を図りにくい状
				意見) P30 で述べた通り。		況にある。」に修正します。
35	第2章	(3)裾野市各産業	④観光産業の現	表中「遊ぶ(楽しむ、リフレッシュする)」に「裾野市運動公園」を加えてはどうか?中	35	運動公園を加えます。
		分野の現状と課題	状と課題	央公園は記載されている。		
l	I	I	1	ı	l	I

旧				内容	新	
頁	章	大項目	小項目	※明らかに誤記と認められるものは訂正しています。	頁	対応
36、	第2章	(3)裾野市各産業	④観光産業の現	意見) RESAS の「観光マップ」などで解析した結果を基に計画に折込をする必要があるの	36、	RESAS の元データである資料から解析しています。
37		分野の現状と課題	状と課題	ではないか。	37	
42	第2章	(3)裾野市各産業	⑤ 地 域 資 源 磨	意見)地域ブランド調査結果は、近隣市だけでなく、長泉町、小山町なども比較対象に	42	長泉町、小山町は調査結果がないため、記載のような
		分野の現状と課題	き・魅力発信の推	入れるべきである。		表になっております。
			進の現状と課題			
46	第2章	(3)裾野市事業者	仕入れ先につい	意見) 仕入れ先の情報は RESAS の企業間取引情報で確認できるのでは? (自治体限定メ	49	企業間取引情報があるのは承知しておりますが、今回
		意向調査	て	ニューだけど)RESAS の活用をもっとした方が良いのでは?		必要な情報は RESAS にないと判断しました。
47	第2章	(3)裾野市事業者	他社との連携・地	意見) 他社との連携・地域連携のアンケート結果で「無回答」が 19%ある(回答数が一番	50	無回答であるということは企業連携が必要ないと判断
		意向調査	域連携について	多い)事に対する解析をする必要がある。解析不足。(例:他社との連携は必要無い?他		していると思いますが、分析は次回以降のアンケート
				社との連携イメージが無い?)		で行いたいと思います。
48	第2章	(3)裾野市事業者	裾野市民の雇用	意見)アンケート結果で「無回答」が50%以上あるのに、①グラフが半分以下?②無回答	52	①グラフを修正いたします。
		意向調査	拡大のための制	の詳細を解析をする必要がある。		②個人事業の方などが多いなどが考えられますが、事
			度・措置について			業規模別のグラフを作成するよう検討します。
49	第2章	(3)裾野市事業者	行政機関への要	意見)アンケート結果の「無回答」で、①グラフに割合が未記載、②無回答(一番多い)	53	①無回答は外出しにします。
		意向調査	望・期待について	の詳細を解析をする必要がある。		②無回答は、支援策が必要ないということだと考えま
						すが、次回以降のアンケートで分析したいと思います。
50	第3章	(1)産業基本計画	①当市の産業振	原文)当市の産業振興の可能性	56	現状把握から課題を抽出し、考え方を導き出すように
		の基本的な考え方	興の可能性			記載します。
				意見)RESAS の「地域循環マップ」→「支出分析」などで、近隣市町との比較をすれば、		
				裾野市の強み・弱みから可能性が明確になるはずだが、記載の内容は前段の分析とは関		
				連性が低い内容が列記されており、「誰もが定性的に感じている事」が記載されているだ		
				けと感じる。現状把握→問題課題の抽出→対策(方針)の決定のプロセスを踏んだ方が		
	第4章	(1)グローバル企	1 1	良い。	C 1	入業放の支地が住た回。マナロルといし老さていま
54	男 4 早 	業立地の維持と継	1-1 	大消費地との大動脈は東名、新東名、国道 246 号で既に存在する。誘致工場から大動脈 までの出入り口までのロジスティクスが重要になる。倉庫業者にも魅力になると思う。	61	企業等の立地維持を図ってまいりたいと考えていま す。
		続的な企業誘致を		よくの四八り日よくのロンハノイノハが里安になる。后単未任にも巡別になるこ心ノ。		9 0
		図るための、活力	走畑	│ │ ※ ロジスティクス・・・企業の物流合理化の手段。原料の手当てから販売まで物流を効 │		
		ある産業基盤づく		率的に管理するシステム		
		b				
55	第4章	(1)グローバル企	1-3	人材供給力を高めることも企業誘致には大切。高校を卒業すると首都圏の大学に行き、	62	首都圏の大学が都心回帰にあるなか、大学を誘致する
		業立地の維持と継	就業支援と人材	そのまま就職という現状をかえていかないといけない。近隣市町と話し合いをし上位学		ことは大変難しいと考えております。そのため、首都
		続的な企業誘致を	育成の推進	校の誘致をはかるべき。		圏に出た学生たちと地元企業を結びつけるための企業
		図るための、活力				説明会等を実施していきたいと考えています。
		ある産業基盤づく				

旧				内容	新	
頁	章	大項目	小項目	※明らかに誤記と認められるものは訂正しています。	頁	対応
		b				
56	第4章	(1)グローバル企	1-4	原文)産業間の枠組みを超えた連携を進めるため、事業者・経済団体・市のそれぞれの	63	①②産業の持続的な発展と地域振興を図る観点で条例
		業立地の維持と継	産業振興につな	役割などを明確にする条例の制定を図る。		を制定するため、「そうしたことから、事業者・経済
		続的な企業誘致を	がる条例づくり			団体・行政のそれぞれの役割などを明確にする条例の
		図るための、活力		意見)①アンケート結果で決して必要性が高い状況では無い、「産業間の枠組みを超えた		制定を図る。」と修正します。
		ある産業基盤づく		連携を進めるため」の条例制定の必要性が明確になっていない。②産業振興=地域経済		
		り		の健全かつ持続的な発展と市民生活の向上、に寄与する為の条例ではないか。		
57	第4章	(2)地域の生活を	2-2	裾野ポイントカードを考えてはどうだろうか。ソフトはスーパー等で採用しているもの	64	政府においてマイナンバーカードによる自治体ポイン
		支え、魅力を与え	商店街の活性化、	を改良してもらえばいい。最大のねらいは、子ども、高齢者の努力に対するご褒美とそ		トの検討がなされているところであり、その検討結果
		る商工業の振興	中小企業の育成	のご褒美を商店街で使ってもらうことによる商店街活性化。		を踏まえつつ、既存の裾野サービスカードとの調整も
			支援			しながら、当市におけるポイントカードの実施につい
						て検討していきたいと思います。
62	第4章		4-1	日本で一番集客力のある富士山を裾野市として積極的に利用すべき。裾野だけの富士山	69	すそのんを活用してシティプロモーションを展開して
		の資源と他分野の	地域資源の再創	を考えてはどうだろうか。		いるところであり、すそのんに集中し、なお一層の周
		連携による観光産	造による交流人			知に努めていきたいと考えています。
		業の進行	口の拡大			
64	第4章	(5)市民の生活満	5-2	実質的に市街化区域、市街化調整区域の見直しをし、優良住宅地の供給範囲を広げるべ	71	フィルム・コミッション事業等を行うことで、首都圏
		足度を高め、移	フィルム・コミッションなど	き。その方が工場誘致施策とも合致する。裾野市の知名度は本当に低い。まず、全国、		に対する知名度アップを図っていきたいと考えていま
		住・定住を促進す	によるシティプロモーシ	特に首都圏での知名度を上げる努力が必要。		す。
		る当市魅力発信の	Έλ			
		推進				
66	第5章	(1)産業連携地域		原文)産業連携地域プラットフォームの役割	75	「ビジネスコンサルティングサービスの提供」「裾野
		プラットフォーム				市産業の現況整理、マーケティング調査等」 という
		の設立		意見)役割に「RESAS、人口動態や各種統計情報を積極的に活用した、論理的・戦略的な		部分に含まれていると考えております。
				ビジネスコンサルティングサービスの提供」を追加。		
				理由)計画策定では、RESAS などの地方創生関連ツールが積極的に活用されたとは見受け		
				られる状況ではない。実施段階では、積極的に活用し、論理的・戦略的な取り組みを期		
				待する。		